

甲府市議会だより

（昭和49年4月1日現在）

人口総数 192,171人
男 93,715人
女 98,456人
世帯数 59,966世帯

（編集・発行）甲府市議会だより編集委員会 電話7054 甲府市議会事務局

昭和49年5月1日

第21号

主な内容

- 一般質問・条例特別委員会の内容.....2頁
- 予算特別委員会の内容.....3頁
- 2月臨時会の内容.....4頁
- 請願陳情と処理結果.....4頁
- 意見書と決議.....4頁

新年度予算など58件可決

65才老人医療無料化を実施

特別委 教育費・水道料で論議

河口市長の任期満了後である昭和49年度市政の方針を定める三月臨時会は、八日から開かれ、一般会計予算（支出）特別会計予算（支出）総額百九十二億二千四百六十六万五千七百六十九円（六十六億五千七百六十九円）を、一般会計（収入）特別会計（収入）総額百九十二億二千四百六十六万五千七百六十九円（六十六億五千七百六十九円）と、下水道の独立、福祉・農業セクター新設に伴う五十八件を原案のとおり可決、十五議員提出の費用負担の指定品目追加と価格調整官派の決議並びに衛生環境緊急費及び給食費負担に対する市費の件について、更に固定資産税・地価増徴委員会の議決を要するとして、二十二日開かれたる臨時会に三十三件提出した。

昭和49年度甲府市予算額

一般会計	107億0364万円
特別会計	85億3662万円
総額	192億4026万円

寄付行為を禁止

父母負担軽減のため

小中学校の施設と教育費に對し、長い間問題と論議されて、その結果、同委員会の結論として、教育費の増大に對し、これに對する基本姿勢の確立を要する。その結果、同委員会の結論として、教育費の増大に對し、これに對する基本姿勢の確立を要する。その結果、同委員会の結論として、教育費の増大に對し、これに對する基本姿勢の確立を要する。



河口市長

市長の予算説明

市長は、新年度予算案について、昭和四十九年度市政の方針を定める三月臨時会に提出した。この予算案は、一般会計（収入）特別会計（収入）総額百九十二億二千四百六十六万五千七百六十九円（六十六億五千七百六十九円）と、下水道の独立、福祉・農業セクター新設に伴う五十八件を原案のとおり可決、十五議員提出の費用負担の指定品目追加と価格調整官派の決議並びに衛生環境緊急費及び給食費負担に対する市費の件について、更に固定資産税・地価増徴委員会の議決を要するとして、二十二日開かれたる臨時会に三十三件提出した。

市長は、新年度予算案について、昭和四十九年度市政の方針を定める三月臨時会に提出した。この予算案は、一般会計（収入）特別会計（収入）総額百九十二億二千四百六十六万五千七百六十九円（六十六億五千七百六十九円）と、下水道の独立、福祉・農業セクター新設に伴う五十八件を原案のとおり可決、十五議員提出の費用負担の指定品目追加と価格調整官派の決議並びに衛生環境緊急費及び給食費負担に対する市費の件について、更に固定資産税・地価増徴委員会の議決を要するとして、二十二日開かれたる臨時会に三十三件提出した。

3月定例会

学校格差是正等

予算措置を図る

予算特別委員会は、今日の議に給食費の公費負担について市長会で、中小学校に對する格差の是正を要する。その結果、同委員会の結論として、教育費の増大に對し、これに對する基本姿勢の確立を要する。その結果、同委員会の結論として、教育費の増大に對し、これに對する基本姿勢の確立を要する。その結果、同委員会の結論として、教育費の増大に對し、これに對する基本姿勢の確立を要する。

危機深まる水道事業

九億一、〇三六万円の赤字

水道問題は、教育問題と並んで、市民生活に最も重要な問題の一つである。しかし、現在の水道事業は、九億一、〇三六万円の赤字を抱えている。この赤字は、主に水道料の不足と、施設の老朽化による修繕費の増大によるものである。市長は、この危機を脱するため、水道料の引き上げと、施設の更新を急務としている。

改定時期

審議会を設置し検討

市長は、水道料の引き上げと、施設の更新を急務としている。このため、水道料の改定時期を早め、審議会を設置し、検討を行うこととした。審議会には、水道局の職員、市民代表、専門家などが参加し、水道料の引き上げと、施設の更新に関する事項を審議する。

○第50号 甲府市職員定数条例の
一部を改正する条例制定について

